

毛馬第 1 閘門および洗堰 1 構

毛馬第 1 閘門および洗堰

けまだいいいちこうもんおよびあらいぜき

分野／部門

有形文化財／建造物

所有者

国土交通省

所在地

大阪市北区長柄東 3

紹介



淀川は大規模な洪水が頻発し、流域の人々に甚大な被害を及ぼした。そのため明治政府は明治 29 年より淀川の大改修工事を開始した。

毛馬においては第 1 閘門(明治 40 年竣工)と洗堰(同 43 年竣工)を設置し、これにより旧淀川(大川)に流れ込む水量を調節するとともに船運の利便を図った。両者共に煉瓦造で端部や要所を花崗岩貼りとする。

第 1 閘門(左側の画像)は中央の閘室の前後に鉄製の両開扉を設置する構造であったが、昭和 3 年(1928)の改修工事により、開閉の作業を迅速に行うため、引き上げ式の鉄製扉が新設された。

洗堰は 9 本の堰柱と両側の橋台からなり、10 個の水通しをもっていた。北側 3 分の 2 が新洗堰の工事により撤去されたが、他はよく残る。

周囲は公園として整備されている。

平成 20 年、「淀川旧分流施設」として国の重要文化財指定をうけたことにより、大阪市の指定については解除。